

感染拡大防止のための 取組強化について

令和3年7月20日
広島県

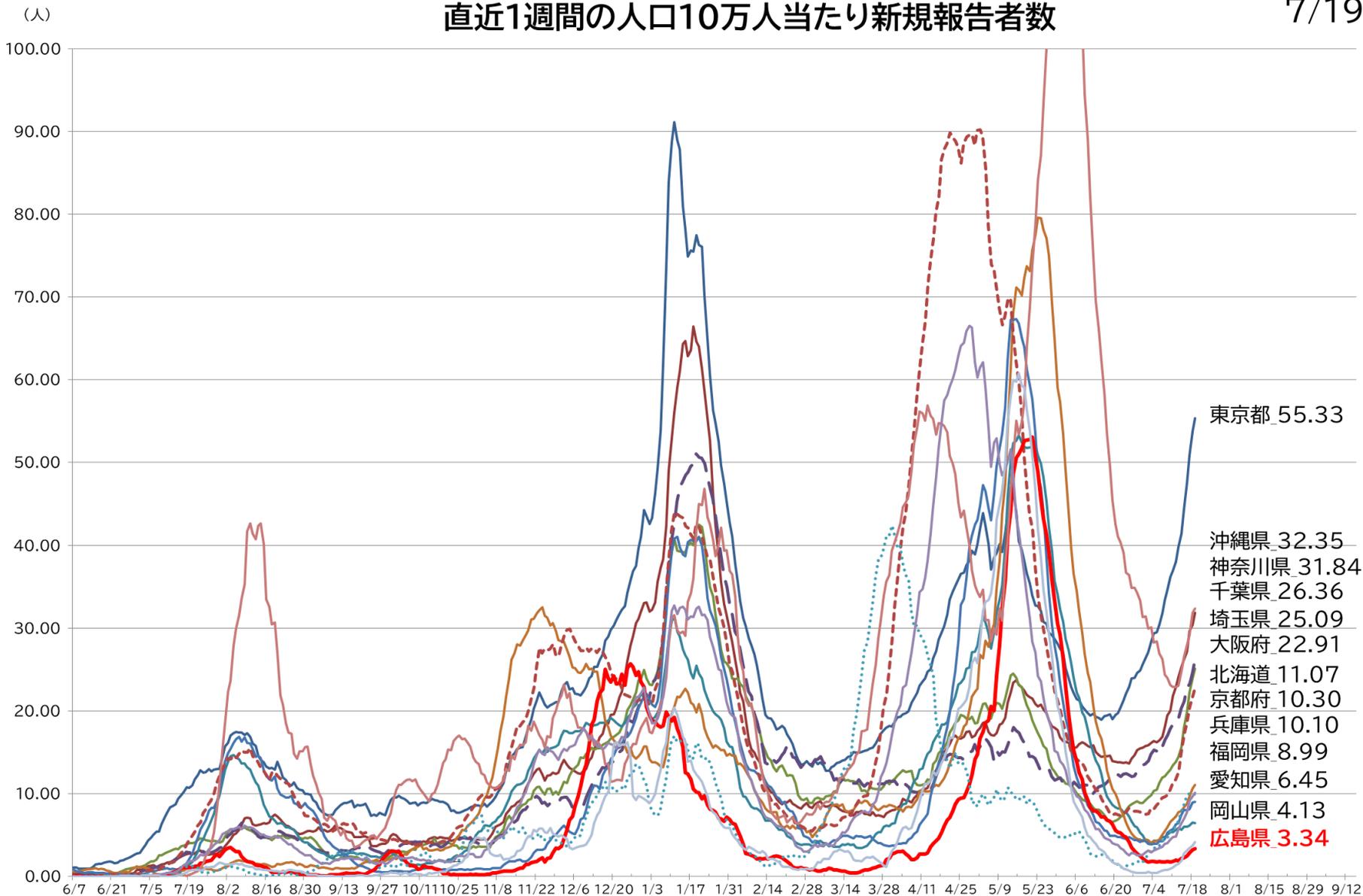
1. 県内の感染状況
2. ワクチン接種の状況
3. 今後の感染拡大について
4. 医療機関におけるPCR検査について
5. まとめ

1. 県内の感染状況

感染状況(全国比較)

直近1週間の人口10万人当たり新規報告者数

7/19時点

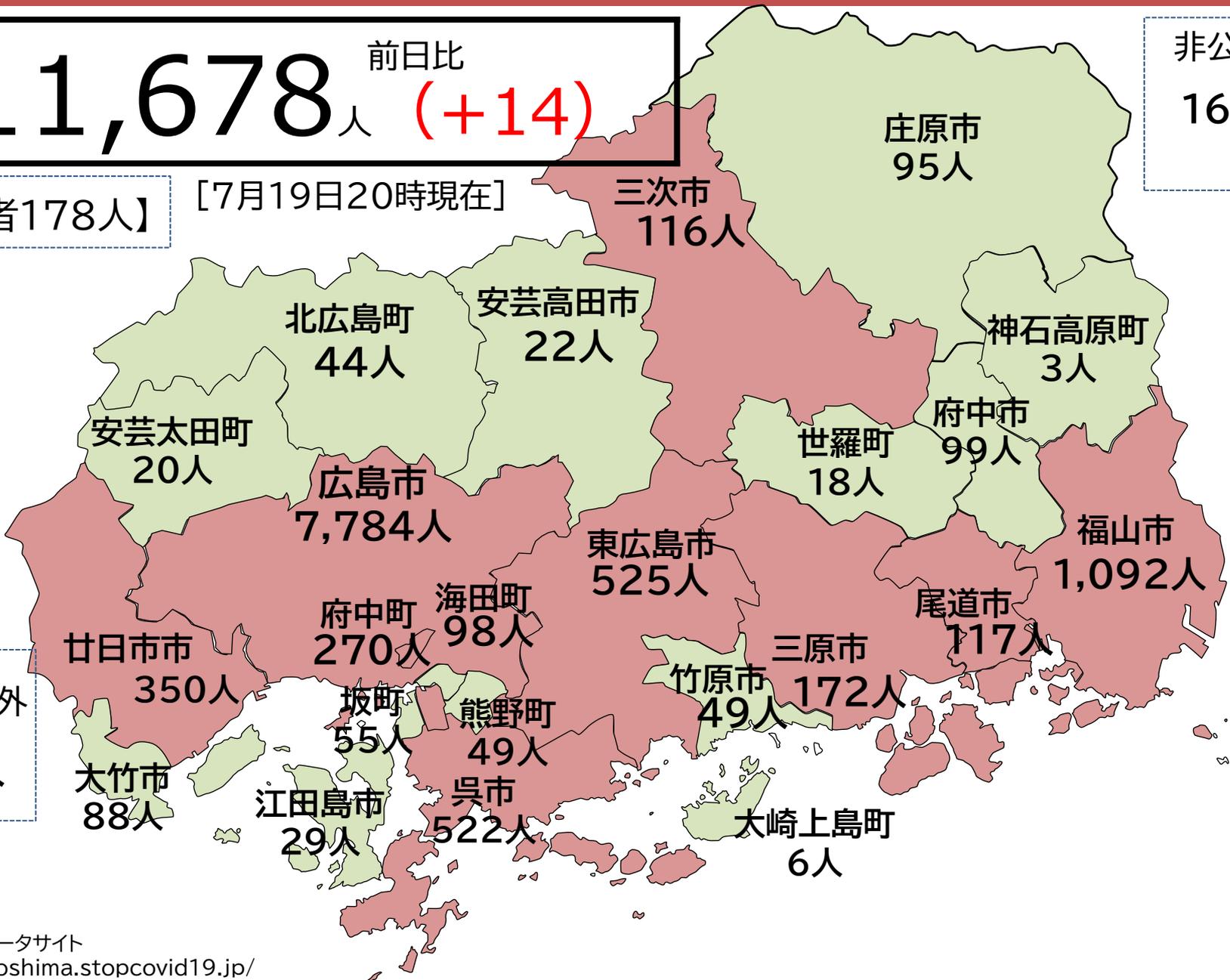


感染者発生状況(市町別)

延 **11,678**人 前日比 **(+14)**

【死亡者178人】 [7月19日20時現在]

非公表
16人



分科会参考指標

7月19日20時整理

公表日別の県市別分科会参考指標

7月13日(火) ~ 7月19日(月) の1週間

分科会参考指標	広島市	呉市	福山市	広島県	広島県 (3市除く)	ステージⅢ	ステージⅣ
療養者数(10万対)(人)	5.1	4.5	6.4	4.0	1.2	20人以上	30人以上
新規報告者数(10万対)(人)	4.4	2.3	6.0	3.3	0.9	15人以上	25人以上
PCR陽性率(7日間)(%)	5.3	1.3	1.0	0.2	0.1	5%以上	10%以上
感染経路不明割合(%)	34.0	80.0	50.0	44.7	75.0	50%以上	
病床のひっ迫具合(%) (確保病床数)	同右			5.6	同左	1/5以上	1/2以上
重症者用病床のひっ迫具合(%) (確保病床数)	同右			6.9	同左	1/5以上	1/2以上
入院率(%)	同右			-	同左	40%以下	25%以下
参考 直近1週間の感染者数(人) (上段は先週1週間)	30 53	6 5	15 28	54 94	3 8	-	

※県把握情報をもとに作成(後日若干の修正が行われる可能性あり)

※PCR陽性率は7/11~7/17の7日間(把握している最新情報)について作成

※3市分のPCR陽性率には、各市の陽性例で医療機関において検査した結果を含まない

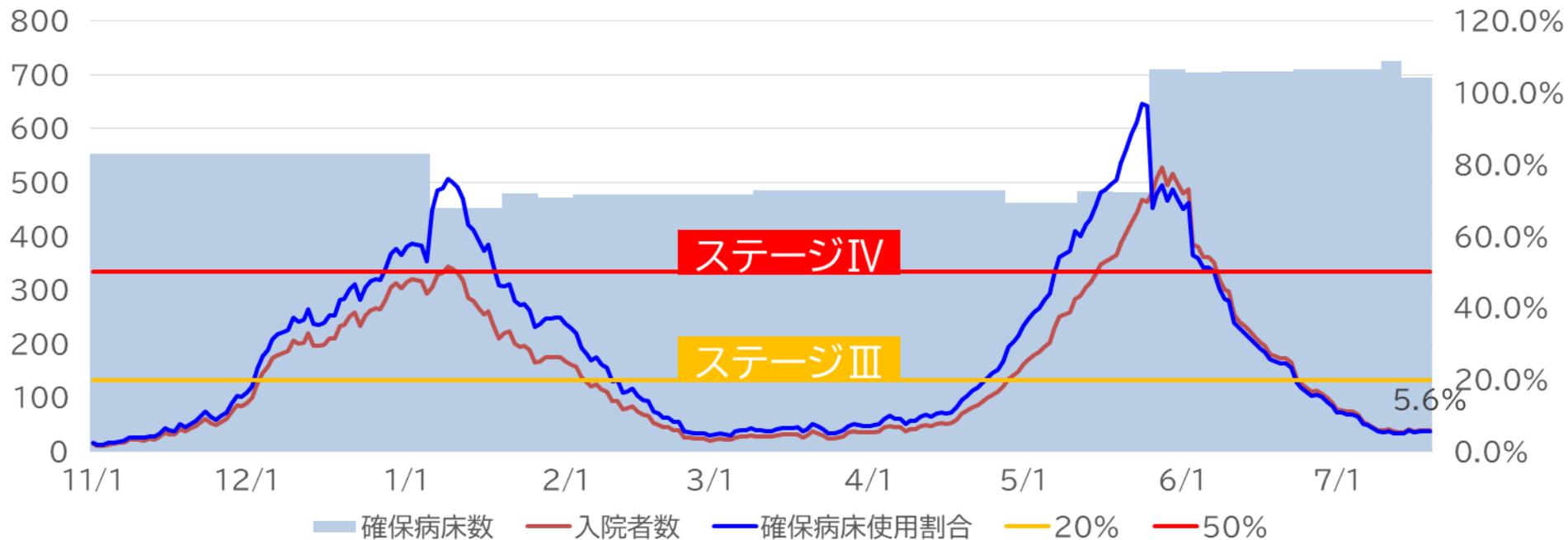
※感染経路不明割合は7日移動平均

※入院率の指標については、療養者数が人口10万人あたり10人以上の場合に適用する

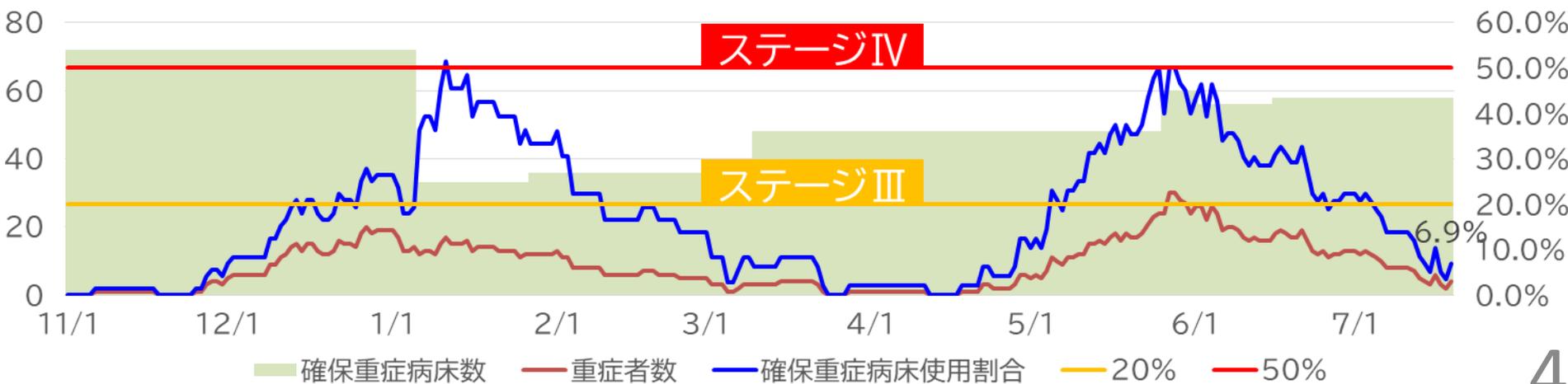
※重症者用病床に7/19現在4名。重症者病床は最大58床確保(県全体)、現時点で39床確保(県全体)

分科会参考指標 医療のひっ迫具合

確保病床使用割合

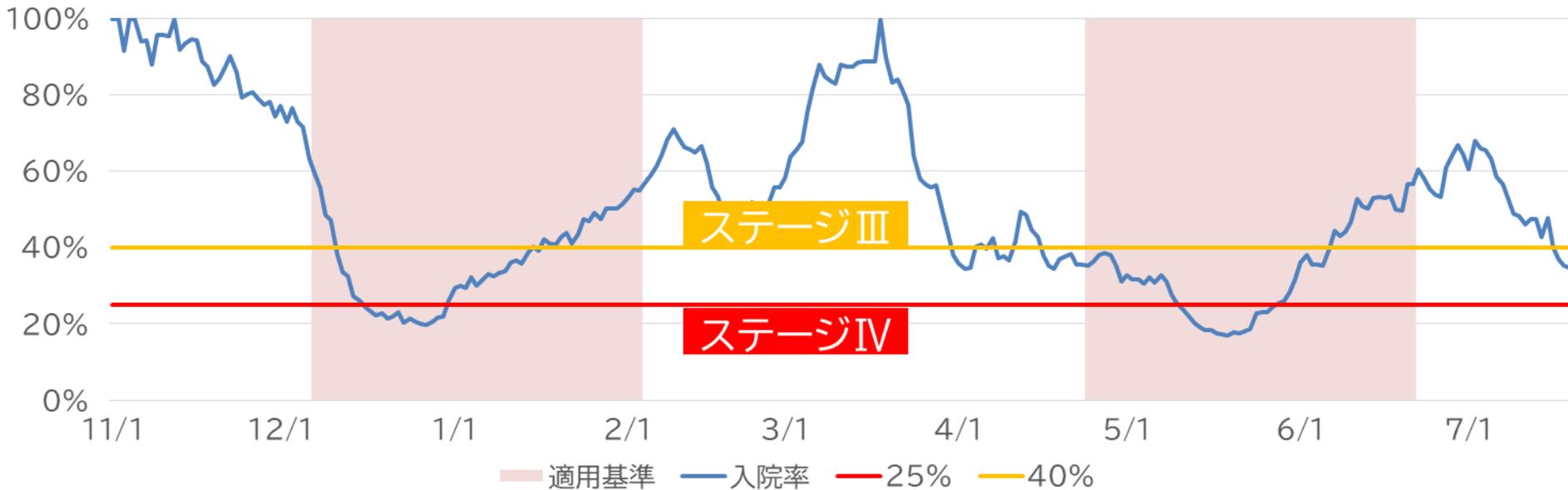


確保重症病床使用割合



分科会参考指標 医療のひっ迫具合

入院率



【用語説明】

確保病床数:その時点におけるフェーズで最終的に確保することとされている病床数。現に稼働している病床数(即応病床数)とは異なる。

入院率:療養者数に占める入院患者の割合。ただし、人口10万人あたりの療養者数が10人未満の場合は適用しない。

(参考)新型コロナウイルス感染症(変異株)患者の発生状況【広島県】

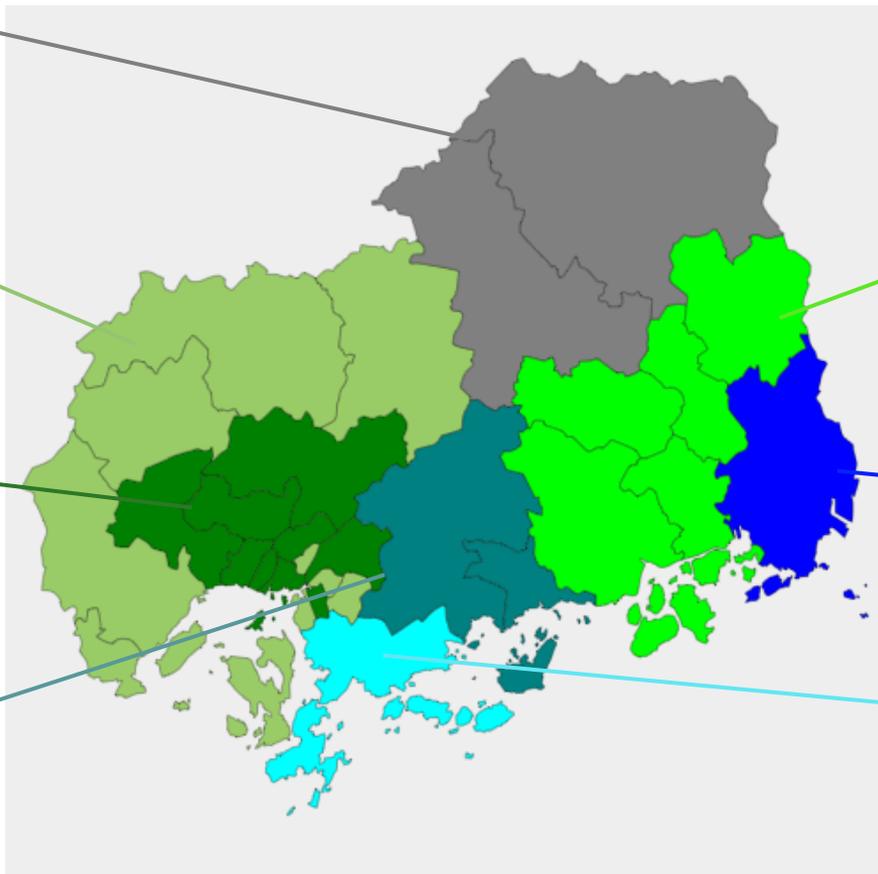
《管轄保健所別》

北部保健所管内	70人
アルファ株	49人
解析不能	2人
未判明	19人

西部保健所管内	302人
アルファ株	217人
解析不能	18人
未判明	67人

広島市保健所管内	700人
アルファ株	205人
デルタ株	7人
解析不能	53人
未判明	435人

西部東保健所管内	210人
アルファ株	132人
解析不能	7人
未判明	71人



(7月20日現在)
合計 1,939人
アルファ株 1,033人
デルタ株 10人
解析不能 148人
未判明 748人

東部保健所管内	194人
アルファ株	132人
デルタ株	2人
解析不能	18人
未判明	42人

福山市保健所管内	341人
アルファ株	260人
解析不能	40人
未判明	41人

呉市保健所管内	122人
アルファ株	38人
デルタ株	1人
解析不能	10人
未判明	73人

(参考)県内のL452R変異陽性事例数【広島県】

《管轄保健所別》

(7月20日現在)
合計 19人

デルタ株 10人
未判明(L452R変異陽性) 9人

西部保健所管内
1人

未判明(L452R変異陽性) 1人

広島市保健所管内
13人

デルタ株 7人
未判明(L452R変異陽性) 6人

東部保健所管内
2人

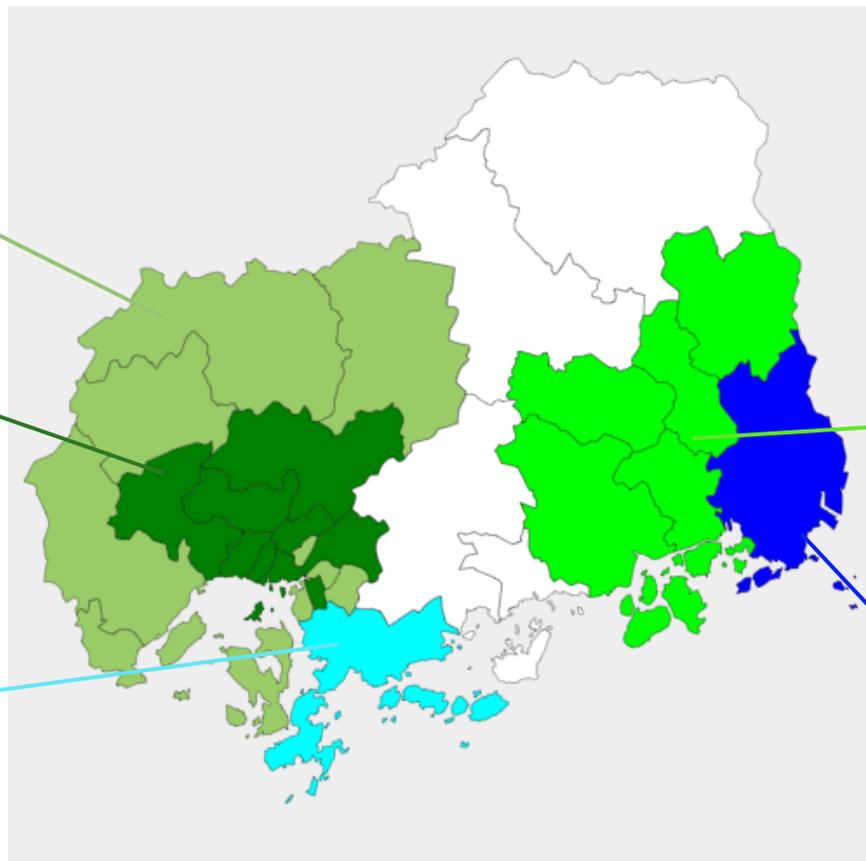
デルタ株 2人

呉市保健所管内
1人

デルタ株 1人

福山市保健所管内
2人

未判明(L452R変異陽性) 2人

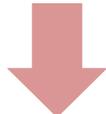


L452R変異株PCR検査の陽性割合

※ 広島県では、6月11日から、原則、全経路について、L452R変異株PCR検査を実施

広島市 所管分	L452R変異株PCR検査 結果判明日	L452R変異株PCR検査 実施件数①	陽性件数②	陽性率(②/①)
	6/11~6/30	104	0	0%
	7/1~7/17	86	6	7.0%
	計	190	6	3.2%

県 所管分	L452R変異株PCR検査 結果判明日	L452R変異株PCR検査 実施件数①	陽性件数②	陽性率(②/①)
	6/11~6/30	130	0	0%
	7/1~7/17	24	2	8.3%
	計	154	2	1.3%



陰性の場合も、
一定数をゲノム解析

ゲノム解析結果における変異株の割合

※ ゲノム解析は県保健環境センターで実施

県 所管分	ゲノム解析結果判明日	対象検体数③	確認件数④		割合(④/③)
	6/15~6/25	51	アルファ株	51	100%
			アルファ株	44	95.6%
	6/26~7/20	46	デルタ株	1	2.2%
			解析不能	1	2.2%

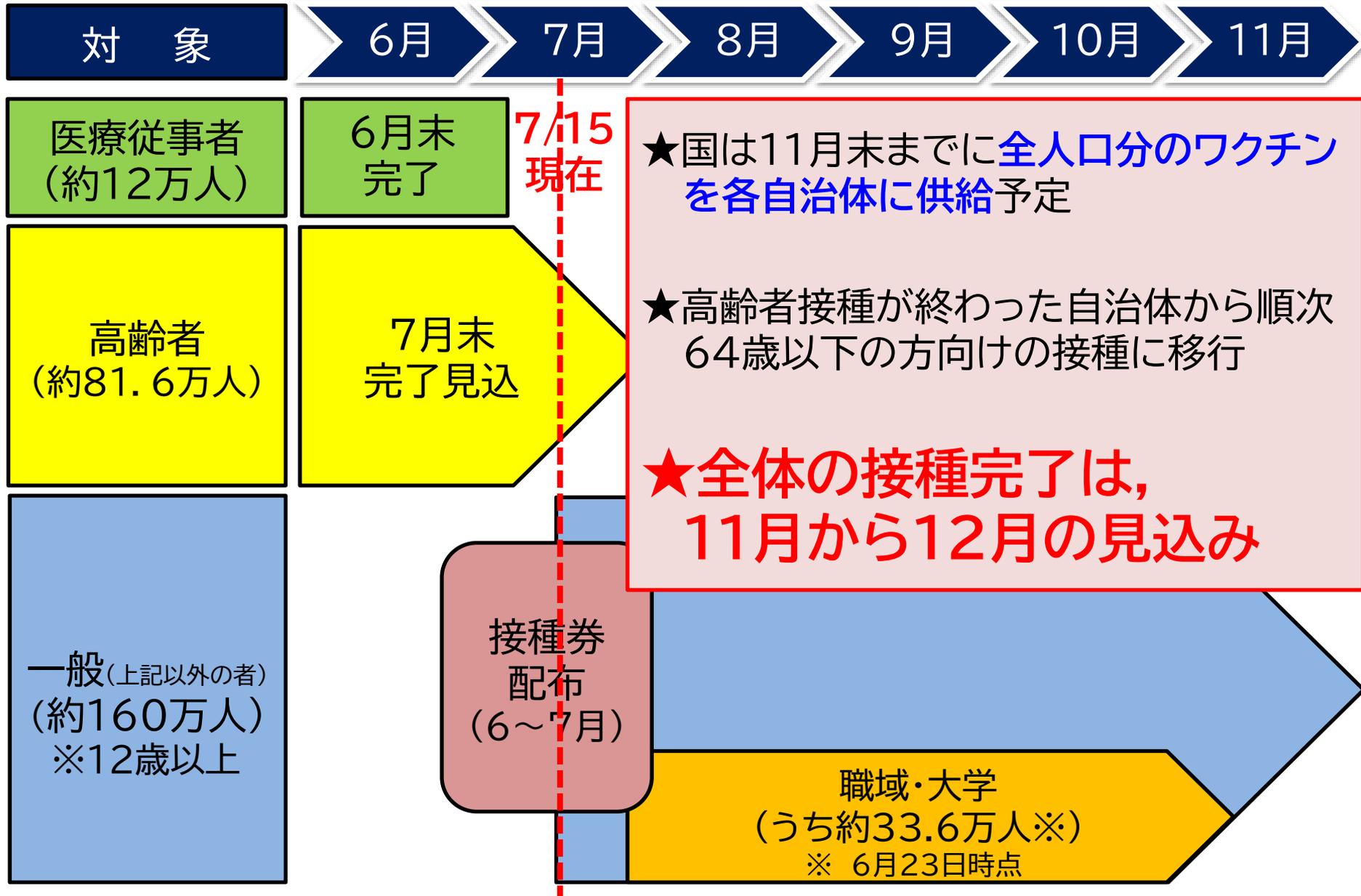
【接種状況】

医療従事者への優先接種：**6月末で完了**高齢者(希望者)への接種：**7月末で完了見込み**

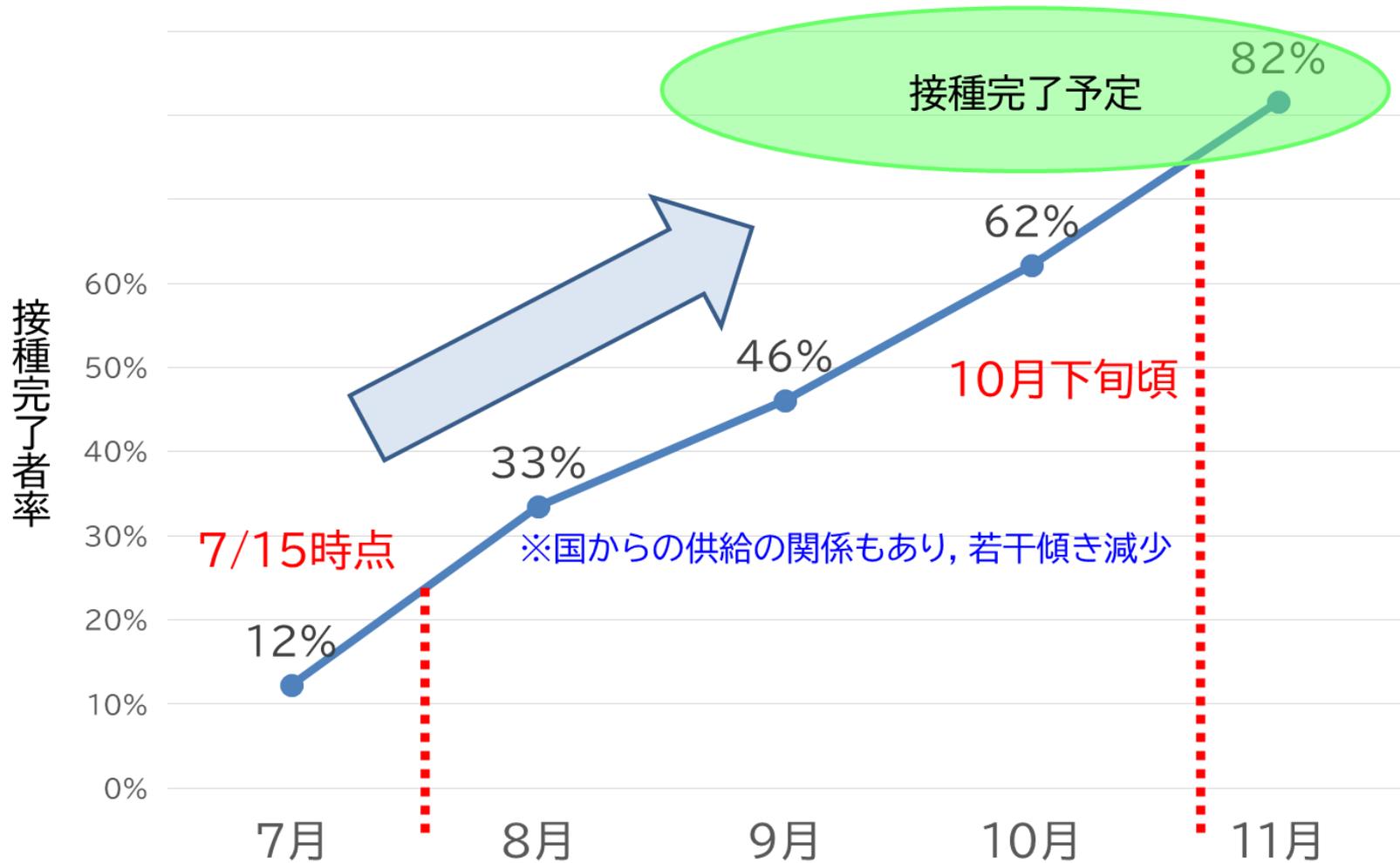
	医療従事者	高齢者(81.6万人)	
1回目	120,332人	641,791人	78.7%
2回目	113,717人	397,517人	48.7%

7月13日時点

ワクチン接種スケジュール

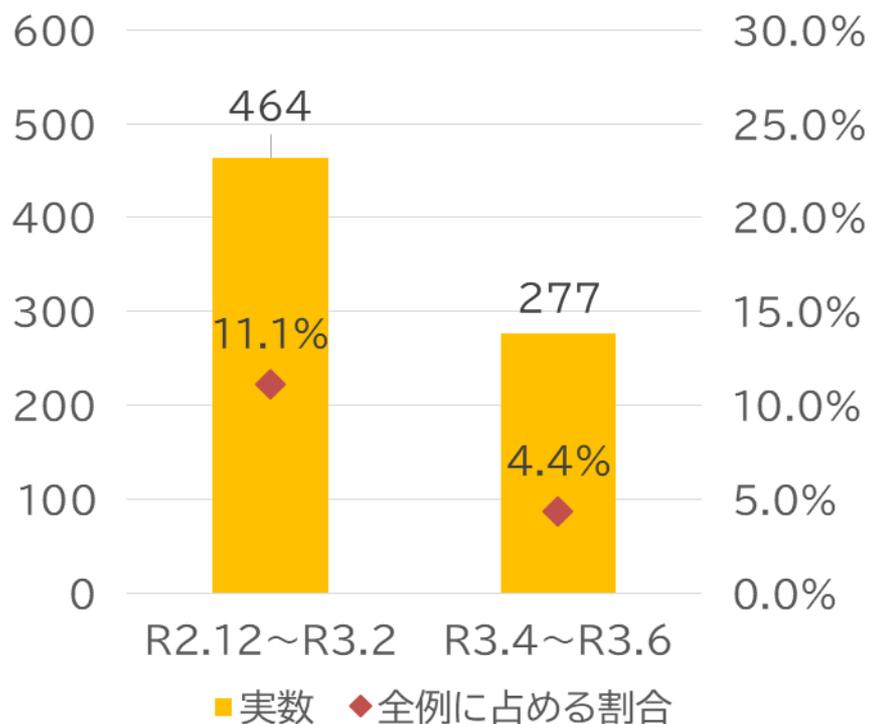


接種完了予定



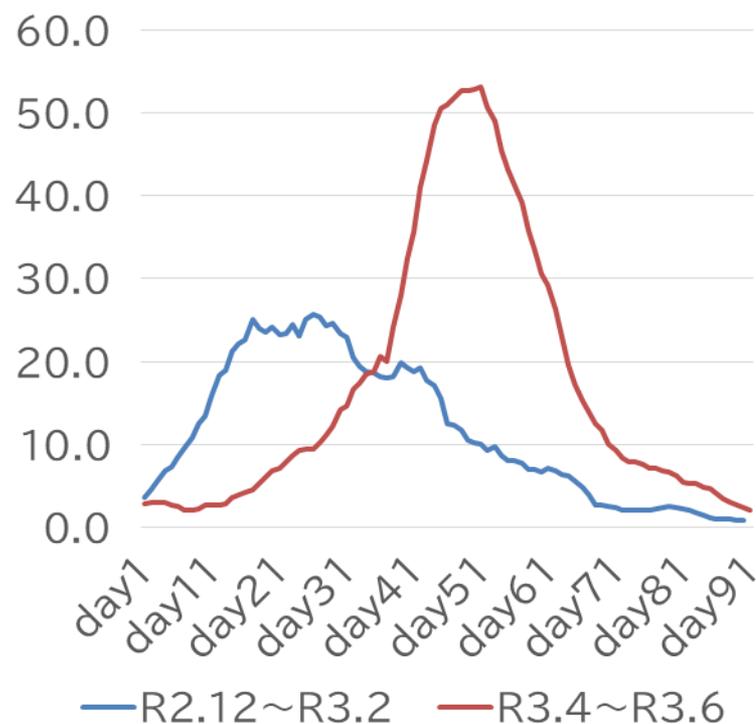
前回(R2.12~)の感染拡大と今回(R3.4~)の感染拡大の比較

感染経路判明例における「医療機関・高齢者施設」での感染事例の数と割合比較



医療機関等での感染は減少

感染規模の比較



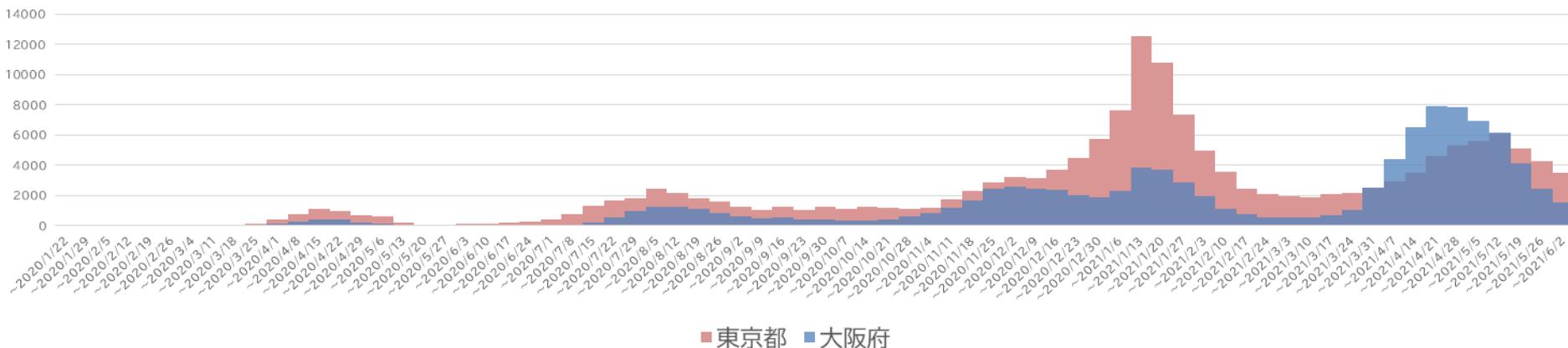
感染者数は約1.5倍に増加

ワクチンにより部分的に状況改善と推測

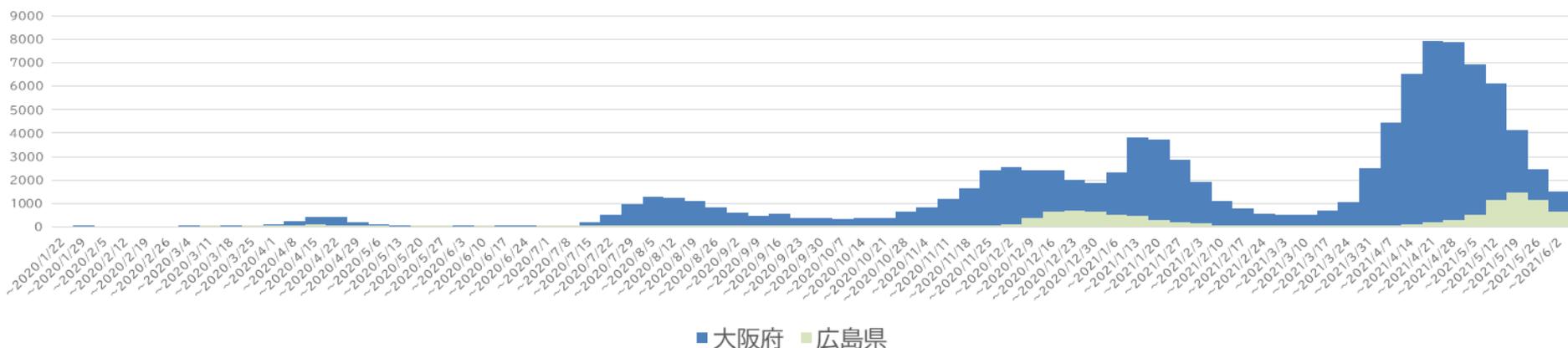
一方で感染全体のボリュームの改善は見られない
全体的な改善にはまだ時間がかかる

**本年4月以降の感染拡大を
最後の波としたい**

東京都と大阪府の感染拡大比較(～R3.6.2の週合計値)



大阪府と広島県の感染拡大比較(～R3.6.2の週合計値)



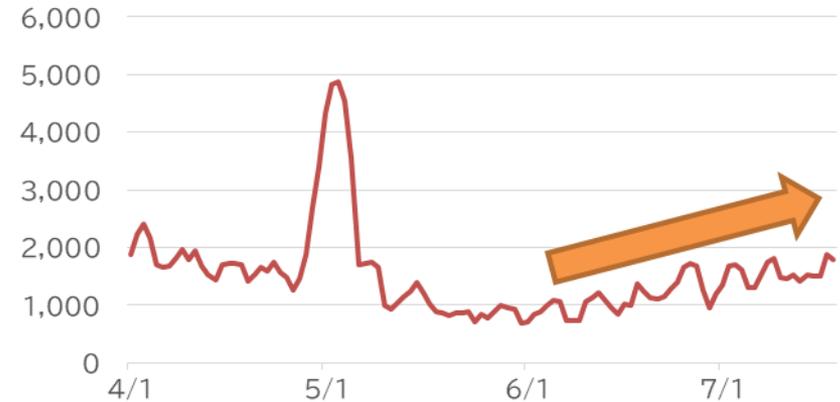
東京都の感染拡大と大阪府の感染拡大はほぼ同時期から2週間遅れで拡大
 大阪府の感染拡大から3週間後に広島県でも感染拡大

広島県の立ち上がりの予兆

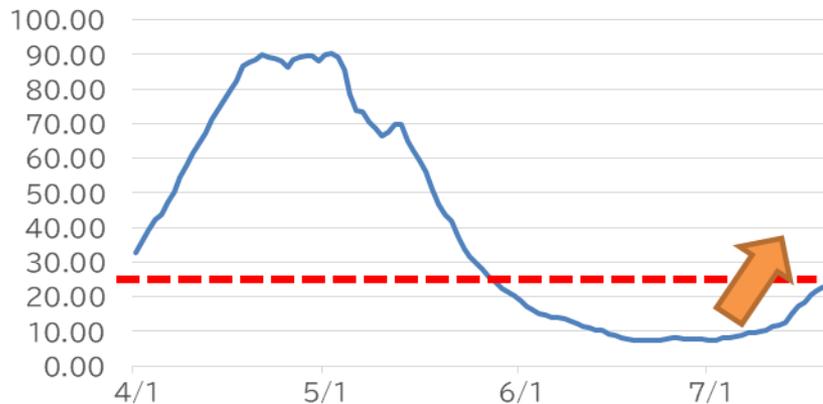
東京都 新規感染者数(直近1週間10万対)



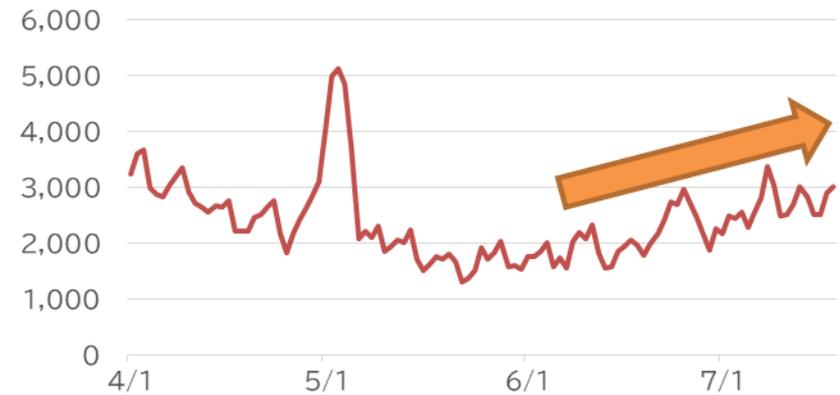
東京都から広島県への人流



大阪府 新規感染者数(直近1週間10万対)



大阪府から広島県への人流



東京都, 大阪府の感染状況, 広島県への人流を基に,
広島県の立ち上がりの予兆をキャッチする指標を設定

※人流: 県外を居住地とする広島県への流入人数 : 「ヤフー・データソリューション」の居住エリア別の情報による, 各日の本県以外を居住地とする者の推計人数

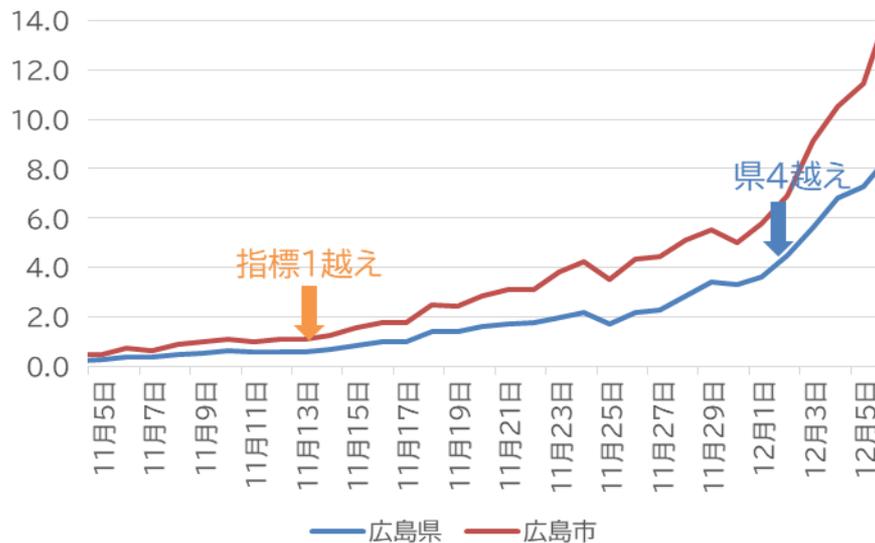
独自指標を用いた早期警戒→目安値超過(7/14)

県外流入指標^(※1) 1を早期警戒段階の目安として運用

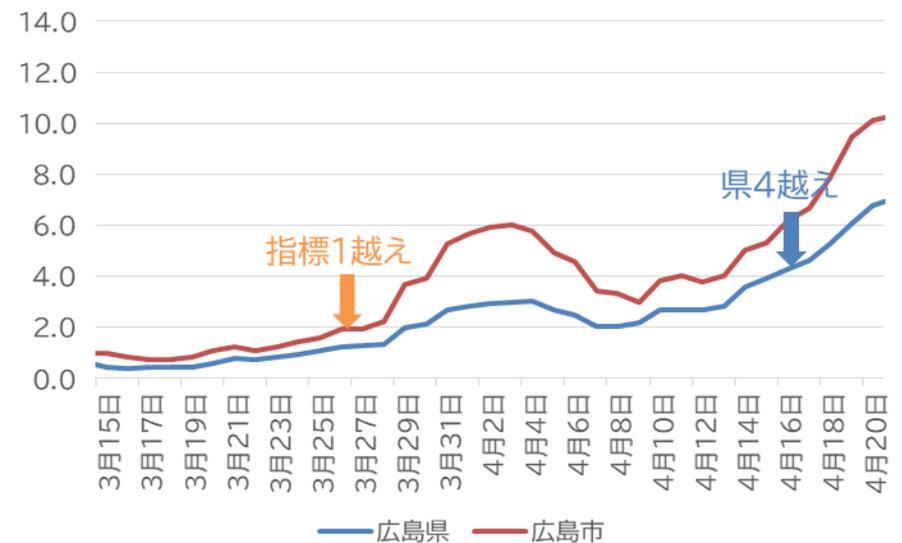
※1 東京都の感染状況(※2)×人流(東京→広島)+大阪府の感染状況(※2)×人流(大阪→広島)

※2 直近1週間の人口10万人あたりの新規報告者数

前回の感染状況



今回の感染状況



過去の感染拡大においては、**県外流入指標**が1を超えてから、概ね3週間後に**県独自警戒基準値4**(直近1週間人口10万人対)を超えている

7月14日に当該指標が1を超過し、上昇傾向維持 → **最大限警戒が必要**

広島市の状況を活用した警戒→目安値超過(7/17)

広島市の感染状況4人(※)を警戒段階の目安として運用

※ 直近1週間の人口10万人あたりの新規報告者数

前回



今回

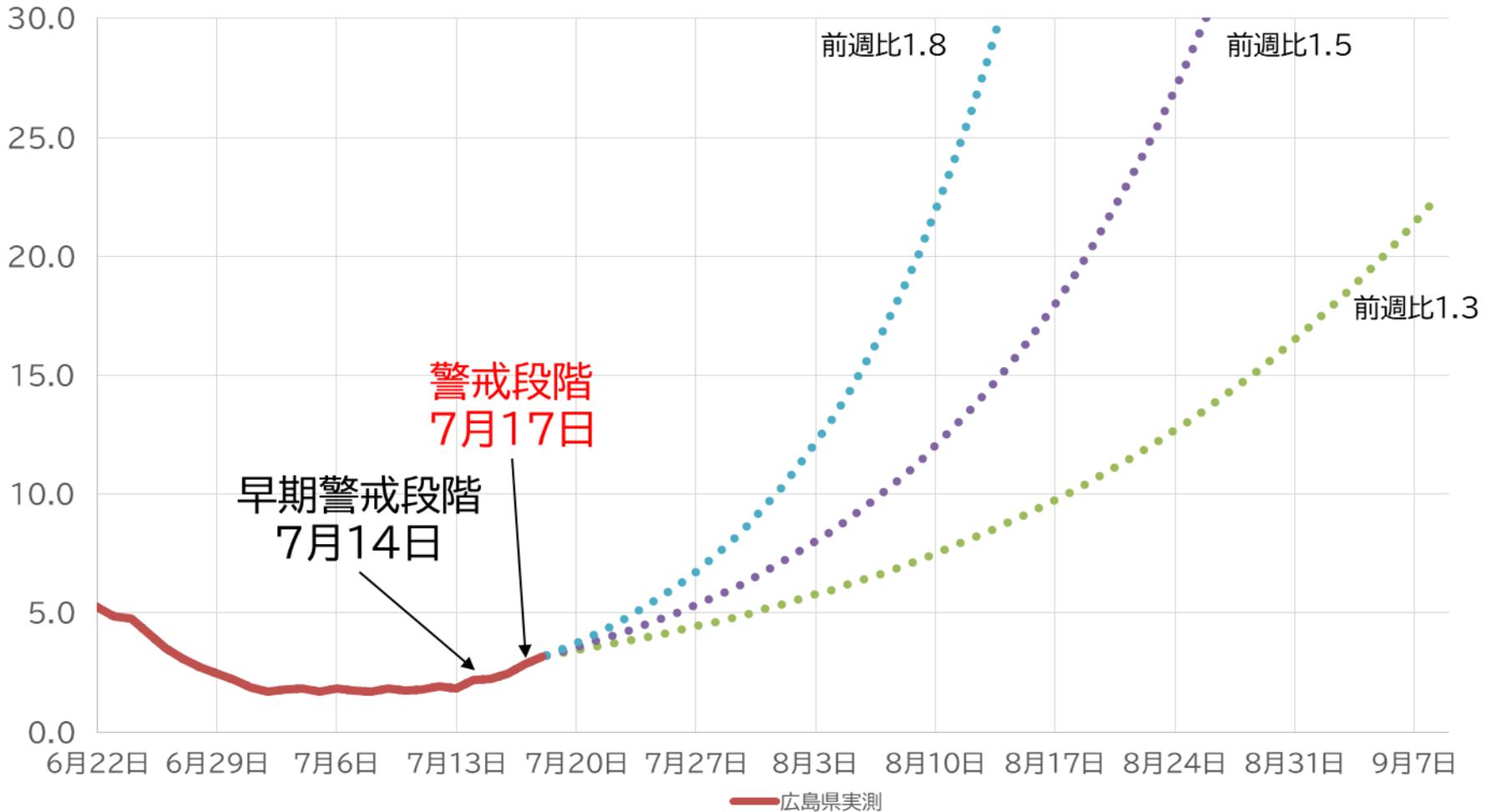


過去の感染拡大において、広島市の感染状況が4人(直近1週間人口10万人対)を超えてから、概ね2~4週間後に県全体で10人(直近1週間人口10万人対)を超えている

7月17日に目安とした値を超過し、上昇傾向維持 → 最大限警戒が必要

感染拡大の予測

直近1週間の人口10万人あたりの新規報告者数



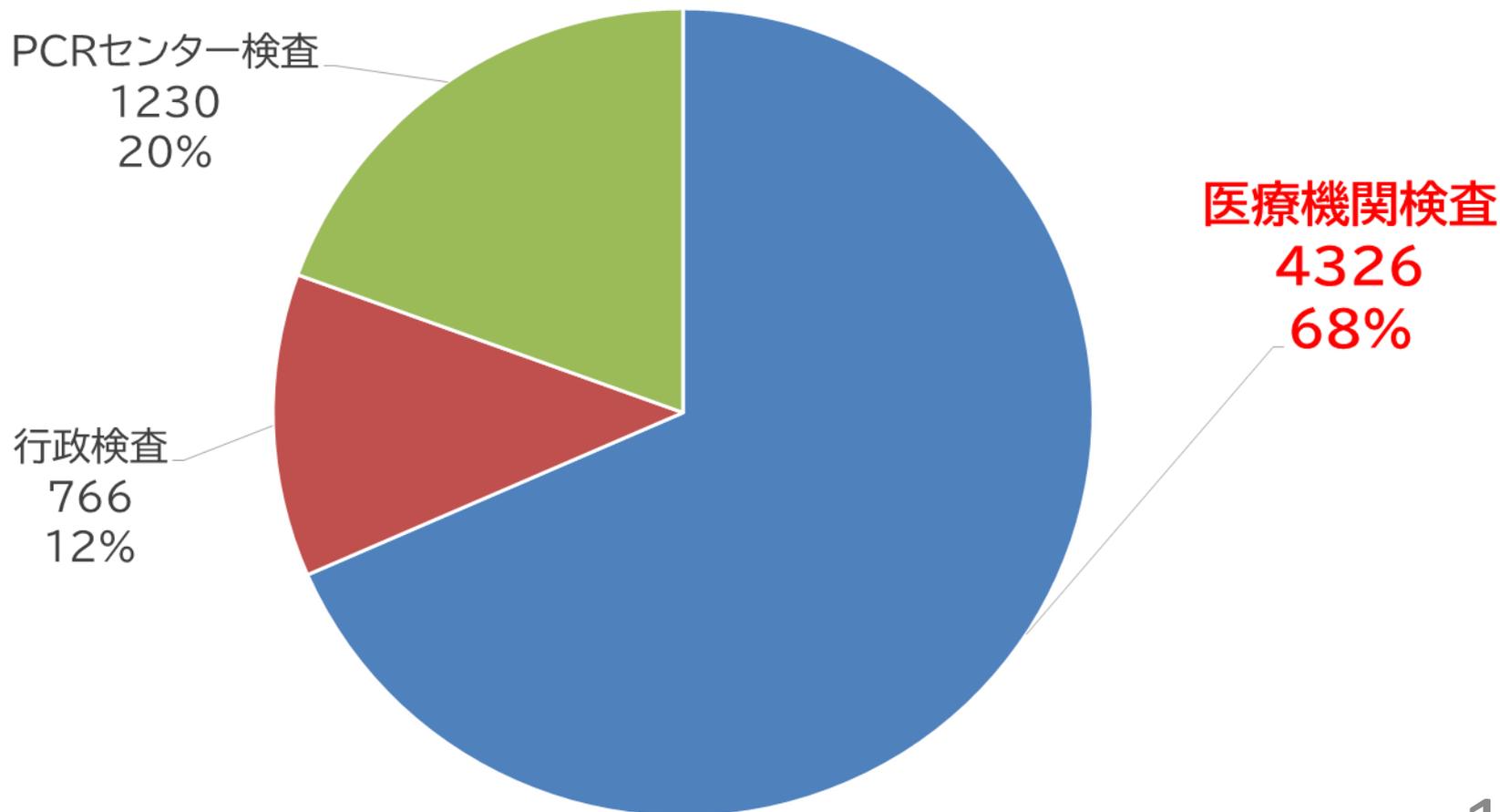
上昇傾向が続くと、**8月上旬**には、直近1週間の人口10万人あたりの新規報告者数が10人に達する可能性がある

4. 医療機関におけるPCR検査について

医療機関による検査の貢献

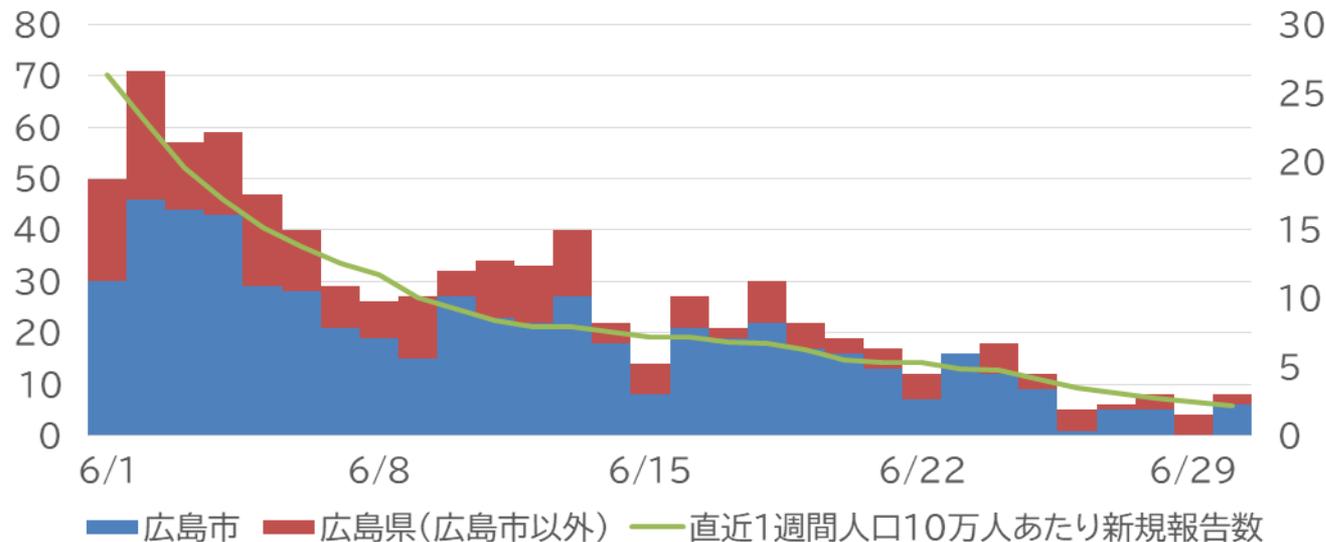
○陽性者の多くは医療機関検査によって発見されており, 医療機関の貢献度は高い

R3.4~6の陽性者の発見ルート



風邪症状等を有する者への検査について

集計対象期間の感染状況



事例内訳

6/1～6/7:14例
6/8～6/14:13例
6/15～6/21:8例
6/22～6/30:1例

○R3.6.1～6.30の報告数806名のうち、広島市報告は569名(全体の70.6%に該当)
→広島市の事例に絞ってデータ整理

○当該期間における医療機関検査陽性件数(広島市):453件

◆上記のうち、風邪症状等を有する者が受診した際、PCR検査が実施されず、後日症状が改善しないため再受診(別の医療機関に受診したケースも含む)し、PCR検査が実施され陽性が判明した事例数:36例(7.9%)

※ただし、最初の受診と検査実施までの日数が7日よりも離れている事例は含めていない

○医療機関における検査体制により、多くの感染者を捕捉できているが、もう一押し検査を徹底できると期待している

感染拡大初期において重要なこと

検査によって陽性者早期把握を徹底

○積極的疫学調査

感染ルートを追いかけて・囲い込み

○医療機関での検査

早めに疑って検査(全体の7割の発見を担う)

○PCRセンターでの検査

検査アクセスの向上

- ワクチン接種については、医師会の皆様の御協力のもと、接種を押し進めることができている。供給について当初予定と異なる部分もあるが、年内に多くの県民の接種が完了する見込みであり、引き続きの協力をお願いしたい。
- ワクチンの効果も一定程度認められるが、感染のレベルが低く抑えられるようになるにはまだ時間を要するため、感染拡大防止対策の引き続きの徹底に御協力いただきたい。
- 大都市において感染が再拡大しており、これまでのデータに基づくと広島県においても8月頃に再拡大する可能性が高く、対策が必要と考える。
- 特に、PCR検査について大きな期待を寄せているため、今一度、検査の徹底に御協力いただきたい。

これまで強固な連携体制を
構築してきたと認識しており、
引き続き連携を強化して臨みたい